

# 水田稲作の始まり 縄文人と弥生人共生を明らかにした猪名川河口域の村

縄文晩期/弥生早期 関西の水田稲作は  
縄文・弥生の人たちが共生して暮らす中で始まった  
猪名川の河口域には そんな水田稲作の村が幾つもあった

伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 2020.11.15.

久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk

大阪伊丹空港

豊中



520m

Image Landsat / Copernicus  
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

Google Earth

# 水田稲作の始まり 縄文人と弥生人共生を明らかにした猪名川河口域の村



**田能遺跡の弥生人 一田能家の人々**

令和2年 11月3日(水・祝) ~ 12月20日(日)

弥生人の平均身長と田能遺跡・勝部遺跡の弥生人の身長

田能遺跡と勝部遺跡の出土人骨について

田能第8号・第9号、勝部第9号のような身長長の人骨がいる一方で、田能第7号・15号では骨のみ合わせ、勝部第8号では大股間に柱状突起をもつ縄文人の骨をもつていた人がいます。近畿地方では、在来弥生人と渡来系

**第1章 縄文人と弥生人**

**縄文人** (渡来系) 弥生人

顔が大きい、目が大きい、二重まぶた、大きな耳たぶ、ひげが濃い、突出した眉骨、顔が広い、(ぼんやりとした) 顔立ちがゆるい、まぶたが重なり、まぶたが重なり、平均身長: 男性158cm 女性148cm、縄文人の顎の骨のみ合わせ、上下の前歯がしっかり噛み合う

**弥生人** (渡来系) 弥生人

目が小さい、二重まぶた、大きな耳たぶ、ひげが薄い、突出した眉骨、顔が狭い、(ぼんやりとした) 顔立ちがゆるい、まぶたが重なり、まぶたが重なり、平均身長: 男性164cm 女性152cm、弥生人的な顎のみ合わせ、上下の前歯がゆるく噛み合う

**第2章 田能遺跡の弥生人 一田能家の人々**

方形周溝墓が3基と、木棺墓9基・木蓋土槨墓5基・土槨墓4基の計17基の埋葬施設が見つかりました。時期は大きく分けて弥生時代中期と弥生時代後期~古墳時代前期です。特に第3号方形周溝墓から見つかった第16号墓、第17号墓からは豪華な装飾品5身に付けた人骨が見つかりました。

埋葬方法について

田能遺跡の墓には①土槨墓・木蓋土槨墓・土槨墓・土槨墓の4種類の埋葬方法があります。②の土槨墓は、骨を丸く包んだ形に似ていて埋められています。

方形周溝墓と埋葬施設

方形周溝墓は、方形の溝の周囲に土を盛り込んで人骨を埋葬するものです。現在は埋葬施設が崩壊しているものが多いです。

田能

縄文時代の海岸線  
弥生時代の海岸線  
弥生時代の海

0 1 2km

富田台地  
淀川  
高宮八丁  
高宮  
森小路  
河内湖  
河内  
阪神  
新井  
田能  
新井  
田能  
新井  
田能

縄文・弥生時代の猪名川河口周辺の海岸線と弥生の集落遺跡概略

伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 2020.11.15.  
久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk  
R0211tanowalk00.htm by Mutsu Nakanishi

1. 8年前の和鉄の道・Iron Road 2013  
「水田稲作の始まり縄文と弥生の融合を示す田能・口酒井遺跡を訪ねる」  
<https://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1302kuchinosakai.pdf>  
今回のwalkのoutline 田能遺跡・口酒井遺跡の概要はこの資料で
2. 【PDF転載】  
田能資料館開館50周年特別展「田能遺跡の弥生人」小冊子2020.11月  
<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanotokubetsuten.pdf>
3. 【スライド動画】伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 2020.11.15.  
久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk  
<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanowalk.mp4>
4. 【Photo Album】  
<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanowalkphoto.pdf>
5. 【web file】伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 2020.11.15.  
久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk  
<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanowalkweb.pdf>

尼崎

Google Earth  
至阪  
園  
田  
岸  
駅



大阪伊丹空港

豊中

伊丹

福知山線

猪名川

酒井遺跡  
田能遺跡  
資料館

藻川

猪名川橋

上園橋

田能

國田競馬場

JR猪名寺駅

新幹線

至阪岸  
國田駅

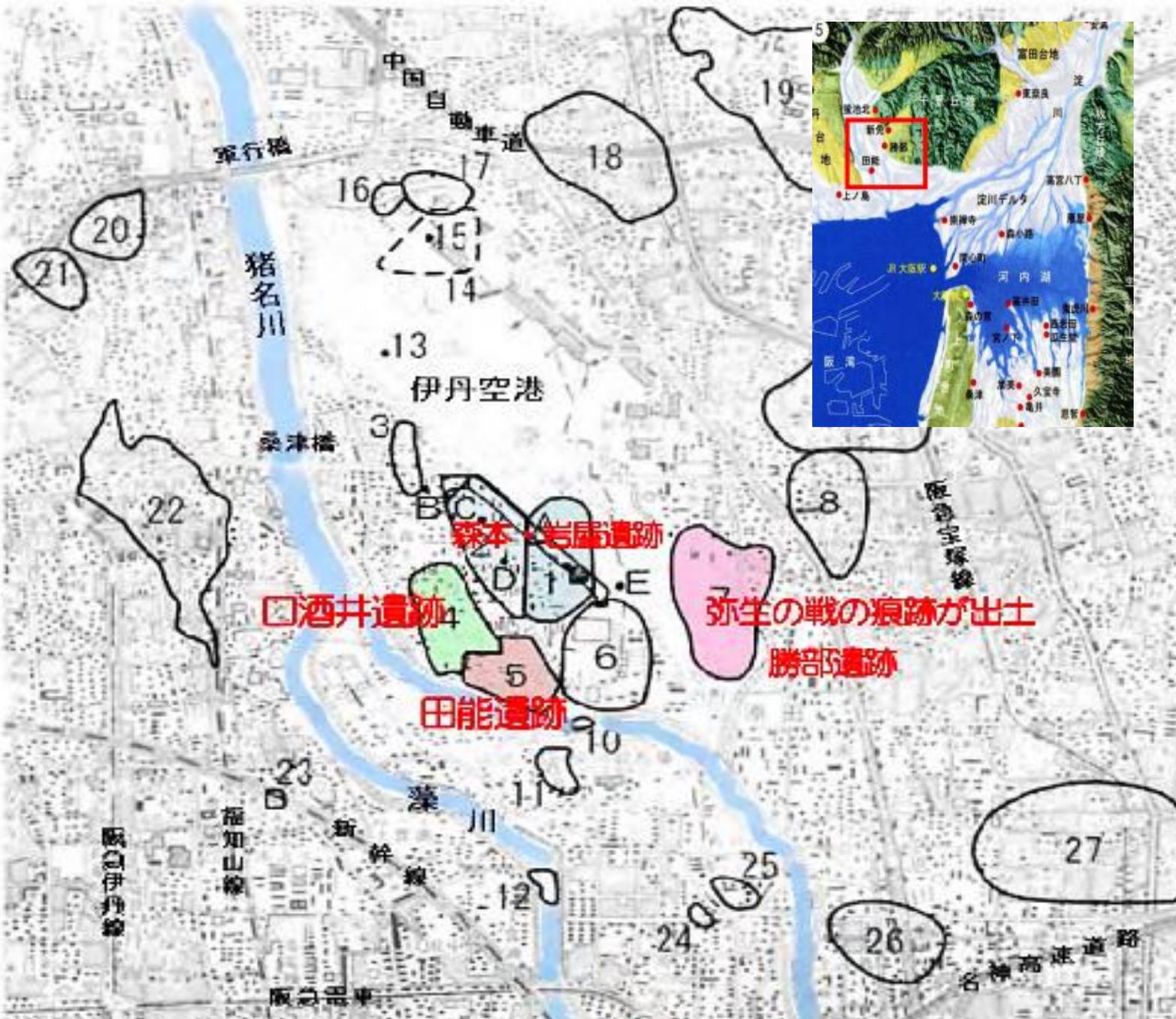
酒井・田能集落遺跡 再訪 周辺の猪名川・藻川walk MAP

Google Earth



1. 岩屋遺跡
2. 森本遺跡
3. 西桑津遺跡
4. 口酒井遺跡
5. 田能遺跡
6. 原田西遺跡
7. 勝部遺跡
8. 山ノ上遺跡
9. 新免遺跡
10. 塔名川川床遺跡
11. 田能高田遺跡
12. 藻川川床遺跡
13. 大阪空港B遺跡
14. 大阪空港A遺跡
15. 中村銅澤出土地
16. 小阪田遺跡
17. 豊島南遺跡
18. 蛍池北・宮ノ前遺跡
19. 待妻山遺跡
20. 北園遺跡
21. 高台遺跡
22. 有岡城・伊丹郡町
23. 中ノ田遺跡
24. 東園田遺跡
25. 利倉西遺跡
26. 上津島遺跡
27. 穂積遺跡

- A. 岩屋遺跡E・F地区  
 B. 森本3丁目地区遺跡  
 C. 森本鶴田地区遺跡  
 D. 森本9丁目遺跡  
 E. 岩屋旧集落遺跡



岩屋遺跡と周辺の弥生時代の遺跡 (S=1/50,000)

約8年前2012年12月に田能遺跡資料館で開催された「弥生の鉄」展を機会に訪れた田能遺跡・口酒井遺跡についてまとめた資料の書き出しに両遺跡について下記の解説がある。

「尼崎・伊丹・豊中の境界部にある伊丹空港とその西側を南北に流れる猪名川に挟まれた地域は縄文晩期(または弥生早期) 弥生の始まりから数多くの集落があり、日本各地からやってきた縄文・弥生系の人たちが交流しつつ、数多くの水田稲作を進める集落を営んできたという。

土地や水利を巡る争いがあったものの、縄文/弥生系の人たちは交流・混在・共生しながら、水田稲作の社会を築いた関西の先駆け。関西での水田稲作の始まりを解き明かす糸口を提供した口酒井遺跡が、今 都市化の波で忘れ去られようとしている。」

弥生の新しい時代を切り開いたのは「争い」ではなく、「共生」だったことを示す重要な遺跡である。

「心優しき縄文人 日本の心のふるさと」と私はいつも言うのですが、

この口酒井遺跡が示す「縄文人と弥生人の共生についてもその証」といつも頭にありました。

あれから8年 2020年11月 尼崎市立歴史博物館開設に伴い、博物館と一体となった田能遺跡資料館開設50周年記念特別展「田能遺跡の弥生人」が資料館で開催されているのを知りました。

「田能遺跡の弥生人はどのような人たちだったのか? 周辺の弥生遺跡も含め、人骨や墓にスポットをあてて展示紹介。

弥生の戦さの痕跡が残る勝部遺跡や口酒井遺跡の出土品も展示」という。

ぜひとも 関西での弥生の始まりを示す口酒井遺跡の出土品ならびに縄文/弥生人共生についての研究の進展を知るまたとない機会。

11月15日 8年ぶりに田能遺跡資料館を訪ねるとともに、

周辺の藻川・猪名川土手を歩きました。

この8年 周辺もよく整備され、遺跡のすぐ横の河川敷は素晴らしい散策公園に。猪名川が流れ出る北摂の山々を背景に広がる素晴らしい秋景色。

昔を思い浮かべながら 心地よい散策できました。

もっとも、口酒井遺跡は住宅や工場の下に埋没。痕跡は地下に。



尼崎市立歴史博物館田能資料館  
開館50周年記念特別展  
田能遺跡の弥生人  
— 田能家の人々 —  
令和2年  
11月3日(火)  
～ 12月20日(日)

はじめに  
弥生時代には大陸から渡ってきた人々によって、米づくりや金属器、機織りなど新しい文化が伝えられました。彼らは、従来から日本に住んでいた人々と混血していったと考えられています。  
大陸の人々の特徴を持った渡来系弥生人は、面積で平坦な暮らしをしており、身長は高く、一方、在来系弥生人は、顔は短くはげが深く、身長は低いという縄文人の特徴を持っていました。  
では、田能遺跡の弥生人はどのような人々だったのでしょうか? 遺跡から出土した人骨や墓にスポットをあて、田能遺跡の弥生人と近隣の弥生遺跡との関係について考えます。

展示解説会と「弥生時代の学びをさらに広げよう」  
11月8日(日) 17時22分(開) 12月12日(土) 14時30分(開) 18時22分(開)  
申し込み不要。  
参加費: 2,500円(税込)。当日会場にて申し込み。  
お申し込みは、お電話または、お申し込み用紙をダウンロードしてご記入ください。  
お申し込み用紙は、お電話でお知らせください。

協賛  
伊丹市教育委員会  
豊中市教育委員会  
兵庫県立考古学博物館  
尼崎文化科学研究機構尼崎歴史民俗資料館  
また、本展覧会にあたり、関係機関より賛助員をお招きしました。  
記して謝辞申し上げます。  
岡山理科大学生物地球学部環境考古学・古生人類学研究室

今回私の一番の興味は靨痕が付いた土器や縄文の特徴を有する口酒井遺跡出土土器の見学と弥生の水田稲作をはじめたという縄文/弥生の人たち共生の村の研究の進展。

平地や海を見晴らす丘など高台に住み続けてきた縄文人たちが、まだ未開の湿地が続く河口近くに下りて生活するインパクトは水田稲作しか考えられないと思いつつ、今回8年を経て 新しい知見が追加されているのか、

興味津々で資料館へ 2020.11.15. by Mutsu Nakanishi



弥生・縄文人が共生して水田稲作をしていた弥生早期の村

弥生と縄文の人たちが戦わず一緒に水田農耕を始めた村

弥生早期の口酒井遺跡や鉄製品が出土した弥生の大集落田能遺跡



現在の伊丹空港周辺はかつては淀川・猪名川の河口地帯

弥生時代のはじめから弥生の村が存在し、

縄文人・弥生人が集まってきて、水田稲作をしていたという

至阪急團田駅

Google Earth

# 縄文晩期 縄文/弥生の人々が共生して関西で初めて水田稲作を始めた伊丹市口酒井遺跡



伊丹遺跡の土器。左は弥生系、右は縄文系【土川文化財研究所】

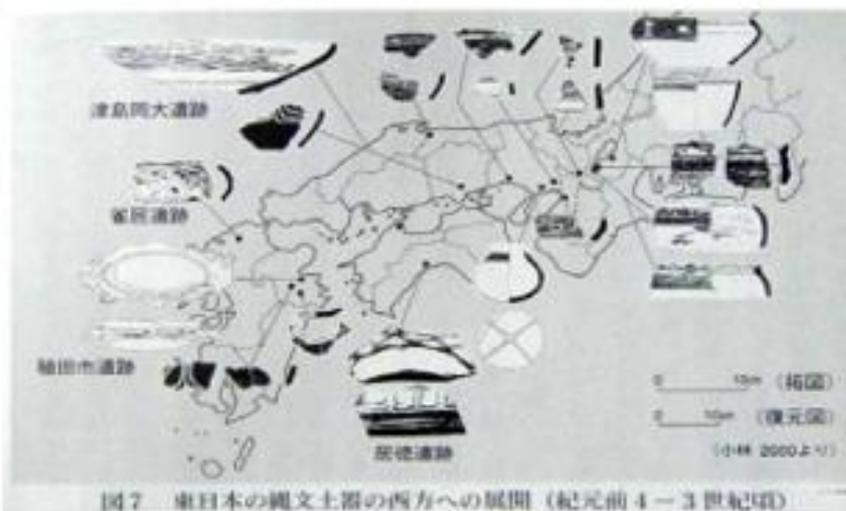
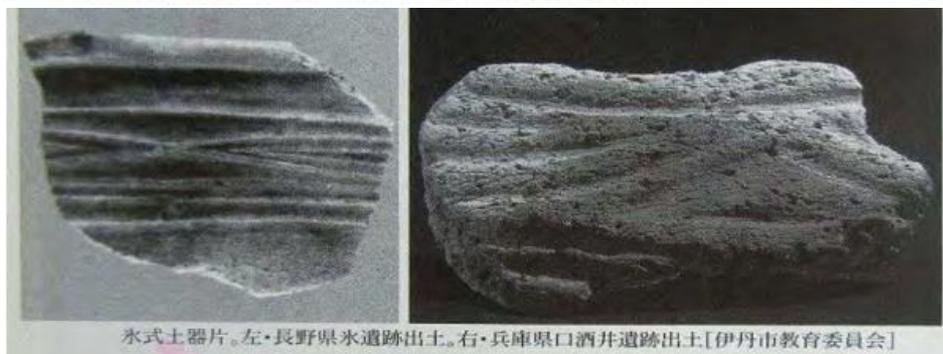


図7 東日本の縄文土器の西方への展開（紀元前4〜3世紀頃）



水式土器片。左・長野県水遺跡出土。右・兵庫県口酒井遺跡出土【伊丹市教育委員会】



稲が付いていた口酒井遺跡出土土器

縄文系の人々の動きを示す土器が発掘された兵庫県の遺跡 口酒井遺跡。約2千3百年前(弥生前期)

上記の写真は 弥生草創期の集落 口酒井遺跡でみつかった東日本の縄文土器の特徴を示す土器片で、この地の土で作られていた。 弥生系の人達にはこのような縄文文様を作る技術はなく、東日本の縄文人たちがこの口酒井遺跡に居住していたと考えるべきだという。 そして、このことを手がかりに西日本の各地に同じような東日本の縄文土器が見つかり、この稲作が伝播してゆくこの頃に、東日本から数多くの縄文系の人達が来ていた証拠だという。

また、一方 反対に 東日本では、突然の稲作集落の出現と共に多数の縄文系土器に混じって、弥生系の土器が出土する。 縄文系の村に弥生系の人が入り込んで、稲作文化が伝播していったという。

# 縄文晩期 縄文/弥生の人々が共生して関西で初めて水田稲作を始めた伊丹市口酒井遺跡



口酒井遺跡 伊丹埋分事務所と変電所がある通り 2012.12.21.



草地在広がる口酒井遺跡の現状 Google 2020 7月 ストリートビューより  
遺跡内の埋文の建物は取り壊されているが、  
遺跡内の状況は2012年訪れた当時時の写真と全く変わらず。

# 弥生初期 縄文/弥生の人々が共生して水田稲作を営んだ大集 尼崎市田能遺跡



川西池田の奥から流れ出た猪名川 当時田能周辺は広大な河口近くの平地



川西池田の奥から流れ出た猪名川の土手の下に 口酒井遺跡・田能遺跡など  
弥生初期 河内からやってきた人たちを主に縄文・弥生の人たちが共生して  
水田稲作の暮らしを始めた村があった。関西での水田稲作が始まり、  
弥生時代、この地では幾つもの弥生の集落が生まれ、受け継がれていった。

弥生初期 縄文/弥生の人々が共生して水田稲作を営んだ大集 尼崎市田能遺跡



三市共同工業用水園田配水場入口



2020. 11. 15 田能資料館の東側の風景 町工場が広がってる 田能6丁目界限  
このphotoの左側 見えぬ左手 猪名川土手に沿って大きな工業用水施設があり  
この施設を含め、見えるあたり周辺が田能遺跡である  
そして さらに その北西側には口酒井遺跡が広がっている

■ 伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 2020.11.15.  
久しぶりの周辺の猪名川・藻川walk  
スタートは田能地区の入口 藻川上園橋から



2020.11.15. 田能地区へ入る入口藻川上園橋  
少し北で猪名川本流から分流した藻川が南へ流れてゆく  
猪名寺から田能の街に渡る上園橋西端から川向う田能の街を眺める  
田能遺跡・口酒井遺跡にはさらに東へもう一つ猪名川を渡らねばならない





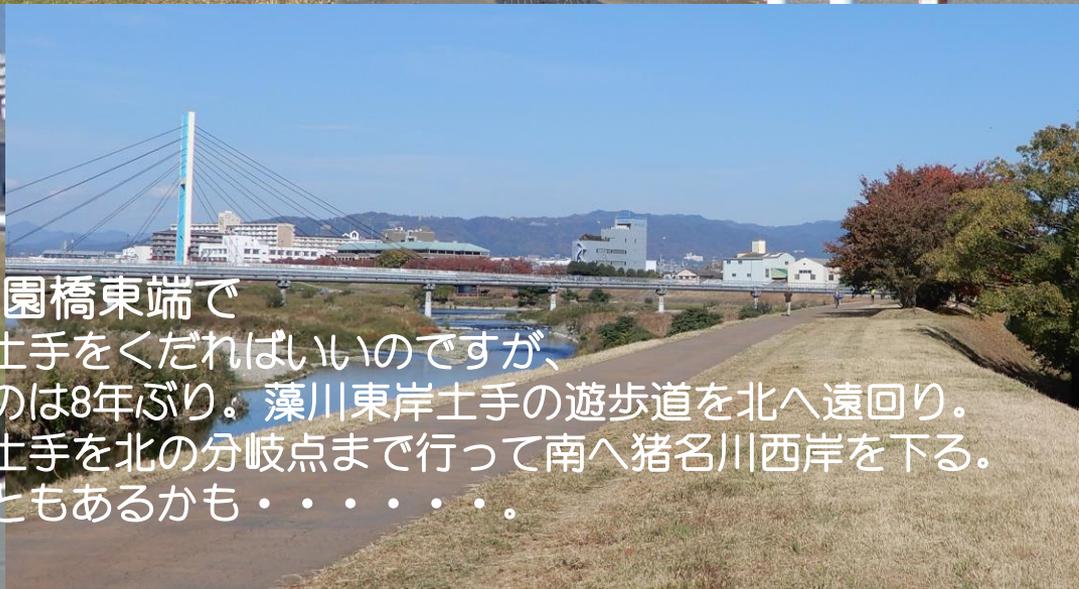
2020. 11. 15 少し北で猪名川本流と分岐した藻川が南へ流れてゆく  
猪名寺から田能の街に渡る上園橋西端で



藻川の北側の眺め 猪名川が流れ下ってきた北摂川西池田方面



2020. 11. 15 藻川の南側の眺め 尼崎猪名寺・阪神間の街並  
藻川は左へ曲がり、すぐ下でまた猪名川と合流して、神崎川となり大阪湾へ  
猪名川は 正確ではありませんが、大阪と兵庫県のほぼ境をなす川です



2020. 11. 15 藻川の上園橋東端で  
田能の街へはこのまま東へ土手をくだればいいのですが、  
秋晴れの藻川の土手 歩くのは8年ぶり。藻川東岸土手の遊歩道を北へ遠回り。  
遊歩道が整備された藻川の土手を北の分岐点まで行って南へ猪名川西岸を下る。  
どこかで東岸へは渡れることもあるかも。。。。。。



2020. 11. 15. 藻川東岸土手から、藻川・猪名川合流点を眺める  
北の川西池田北撮の山間を流れ下ってきた猪名川の藻川分岐点周辺  
分流点北に架かる斜張橋神津大橋が見える。



2020. 11. 15. 藻川分岐点を南に流れ下る猪名川本流  
結局猪名川東岸へ渡る橋はなく、藻川分流点を南に回り込んで、  
今度は猪名川西岸を猪名川橋まで下る。

藻川と猪名川に挟まれた中洲にある田能の街をぐるりと回り込んで藻川の上園橋からまっすぐ  
田能の街を横切ってきた道の合流点猪名川橋西に出て、猪名川の東岸に渡ること  
でも 秋晴れの心地よい川岸の散歩道 こんなに景色の良い散歩道が整備されているとは全く  
知らず。ラッキーでした。  
猪名川橋を渡ると東岸の土手下が目的の田能遺跡・酒井遺跡である。

藻川分流点から今度は猪名川本流の西岸を南へ猪名川橋まで下る

藻川と猪名川の中洲の北端を回って今度は猪名川に沿って下る。

下流遠くに猪名川橋周辺が見え、随分上流まで歩いたようだ。

だんだんかつて歩いた記憶も戻ってくる。

遠望する猪名川橋南の土手下に見える建物群

豊中・伊丹・尼崎三市共同工業用水配水場施設の一角が田能遺跡。

猪名川東岸には数多くの送電鉄塔と土手に沿って住宅や工場の建物が建て並ぶ。

手多くの送電鉄塔を結ぶ変電所の隣が口酒井遺跡なのですが、ここからは見えない。

藻川の土手もそうでしたが、猪名川・藻川が作る中洲

北端である分流点から下流の猪名川西岸も遮るもののない散歩道

ジョギングや散歩する人たちも多く心地よい

2020. 11. 15. 藻川との分流点から南に流れ下る猪名川本流  
藻川分流点 猪名川西岸土手より下流側の猪名川橋遠望



2020. 11. 15. 猪名川橋西側から南東側 猪名川東岸の周辺を眺める  
猪名川の背後にはうすぼんやり、生駒山が霞んで見える。  
気が付かなかったのですが、生駒山はこの地から近い。  
田能資料館でこの地に住む弥生の人々は河内からやってきたひとが多いという。  
弥生時代の河内湖・河内とは近いのだと実感。  
また、西側には大阪湾から阪神の平野部です。 東岸からは北の背後に六甲の山並も見える。



2020. 11. 15. 猪名川東岸の猪名川橋から上流側遠望  
この上園橋を渡れば 左土手下が〇酒井 右土手下が田能6の街  
工場建物が立ち並ぶ街の一角にそれぞれ〇酒井遺跡・田能遺跡が眠る  
橋の土手下一体に大きな尼崎の敷地園田配水場があり、この地下一帯が田能遺跡で、  
南端一角木々に包まれ、田能資料館と一部竪穴住居などが復元整備されている。



2020. 11. 15. 猪名川橋東岸は車道で、北西側の川向うに遠く六甲の山並が見える。かつての猪名川河口域では前面に大阪湾、そして広大な平地の周りをぐるりと六甲・北摂の山並・河内湖の背後に生駒山が取り囲み、四方から多くの弥生の人たちがこの広大な平地に向かってやってきたことが実感される。



2020. 11. 15. 猪名川橋東岸に見える森周辺が田能遺跡(田能遺跡の南端部分一部復元部分)  
森の北端に田能資料館の建物が見える。



2020. 11. 15. 猪名川橋東岸は広い幹線道路 遊歩道が道に沿って整備されている。  
南へ 園田配水場を眺めながら少し歩くと田能資料館です。  
ふと 足元をみると歩道を横切る排水溝の鉄カバーが弥生銅鐸の図柄に。



田能遺跡へ向かう散策歩道を横切る溝の鉄製カバーのデザインは、弥生銅鐸に描かれた農耕の絵がかかれていて、弥生の大集落田能遺跡への道のモニュメント



口酒井  
遺跡

三市共同工業用水  
園田配水場

田能遺跡  
資料館

2020. 11. 15. 猪名川橋の南側 土手下に沿って、発掘調査後、跡地に建設された  
三市共同工業用水園田配水場と隣に田能資料館と一部復元保存された田能遺跡がある



土手の車道沿い三市共同工業用水園田配水場入口



2020. 11. 15. 猪名川の土手に沿って南に田能資料館の入口



2020. 11. 15. 猪名川橋の南土手下の田能遺跡の一角にある田能資料館入口。



2020. 11. 15. 資料館に隣接して 弥生の大集落 田能遺跡の一部を復元保存



2020. 11. 15 田能資料館の東側の風景 町工場が広がってる 田能6丁目界限

このphotoの左側見えていぬ左に大きな工業用水施設があり、この施設を含め、周辺が田能遺跡である。そして、さらにその北西側の口酒井の街中に口酒井遺跡が眠っている。



興味津々で資料館へ開館50周年記念特別展へ

田能遺跡の弥生人  
— 田能家の人々 —

令和2年  
11月3日(火・祝)  
～ 12月20日(日)

●特別展関連イベント●  
展示解説会と「弥生時代のアタセサリーまつりよう」  
11月3日(祝) 10時～12時(10時～12時15分)  
11月20日(日) 10時～12時(10時～12時15分)  
会場：尼崎市立歴史博物館 田能資料館 展示・学習室  
申し込み先：企画課、文化学習課、社会教育課(いずれも11月15日まで)  
※特別展期間中は休館日により休館する場合があります。変更時は別途お知らせいたします。

尼崎市立歴史博物館 田能資料館  
〒951-8501 尼崎市田能1-1-1  
TEL / FAX: 06-6492-1777  
http://www.city.niigata.jp/tanoiseki/004.html  
休館日：祭日(休館日) 休館日(休館日) 休館日(休館日) 休館日(休館日)  
開館時間：午前10時～午後5時(最終入館は午後4時30分)  
入館料：無料  
※ 尼崎市立歴史博物館

特別展は田能遺跡と共に周辺に存在した弥生の集落遺跡 勝部遺跡・原田西遺跡・口酒井遺跡の墓と墓に埋葬されている人骨にスポットをあて、どんな弥生人が暮らしていたか?を探る展示。各遺跡の縄文・弥生系の弥生人の人骨調査から、縄文・渡来弥生系弥生人が混在して暮らしていた様子を明らかに。

私が期待していた縄文晩期(弥生早期)の水田稲作開始の状況ではなく、主に田能遺跡が存在した弥生前期・中期の状況の展示。このかつての猪名川河口に近い平地で縄文・渡来弥生系の人々が暮らし、この地で早くから、縄文・渡来系の人々が共生して水田稲作を始めたことを示唆する展示。また一つ「心優しき日本 縄文・弥生人共生」の証でした。

特別展の内容は小冊子に展示内容がそのまま写真記録されていたので、各遺跡の人骨調査結果のみを転載。特別展小冊子をPdf資料にして添付。紹介に代えさせていただきました。

■【PDF転載】田能資料館開館50周年特別展「田能遺跡の弥生人」小冊子2020. 11月

<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanoiseki.pdf>

尼崎市立歴史博物館 田能資料館  
開館50周年記念特別展  
**田能遺跡の弥生人  
—田能家の人々—**  
令和2年  
11月3日(火・祝)  
～12月20日(日)

特別展関連イベント  
●特別展関連イベント●  
■展覧会  
■特別展  
■特別展  
■特別展

## 第1章 縄文人と弥生人

### 縄文人

彫りが深い  
目が大きい  
二重まぶた  
大きな耳たぶ  
ひげが濃い

平均身長：男性158cm 女性148cm

縄文人的な歯のかみ合わせ  
上下の前歯がしっかりかみ合う

### (渡来系)弥生人

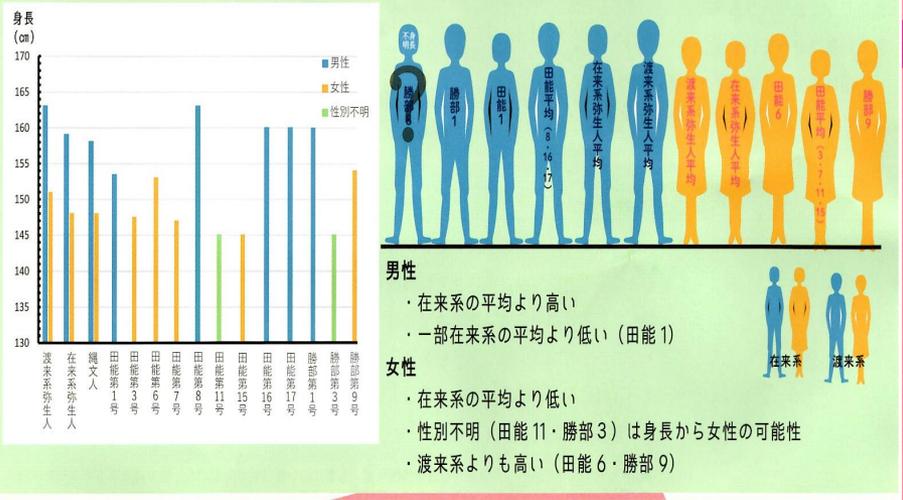
おもなが  
面長の  
のっぺり顔  
まぶたは厚い  
目は細い  
唇は薄い  
ひげなどは薄い

平均身長：男性164cm 女性152cm

弥生人的な歯のかみ合わせ  
上の前歯が下の前歯にかみさる

※ Brothwell 1981 『Digging up Bones』より引用  
※ 中橋孝博 2019 『日本人の起源 人類誕生から縄文・弥生へ』を基に作成

### 弥生人の平均身長と田能遺跡・勝部遺跡の弥生人の身長



### 田能遺跡と勝部遺跡の出土骨について

田能第8号・第6号や、勝部第9号のような高身長的人物がいる一方で、田能第7号・15号では歯のかみ合わせ、勝部第8号では大腿骨に柱状突起をもつなど縄文人の特徴をもっていた人がいます。近畿地方では、在来系弥生人と渡来系弥生人が混在しているとの研究結果もあり、田能遺跡と勝部遺跡もこのような状況を示していることがわかります。

## 第2章 田能遺跡の弥生人 —田能家の人々—

方形周溝墓が3基と、木棺墓8基・木蓋土墳墓5基・土器棺墓4基の計17基の埋葬施設が見つっています。時期は大きく分けて弥生時代中期と弥生時代後期～古墳時代初めです。

特に第3号方形周溝墓から見つかった第16号墓、第17号墓からは豪華な装飾品を身につけた人骨が見つかりました。

田能遺跡第4調査区

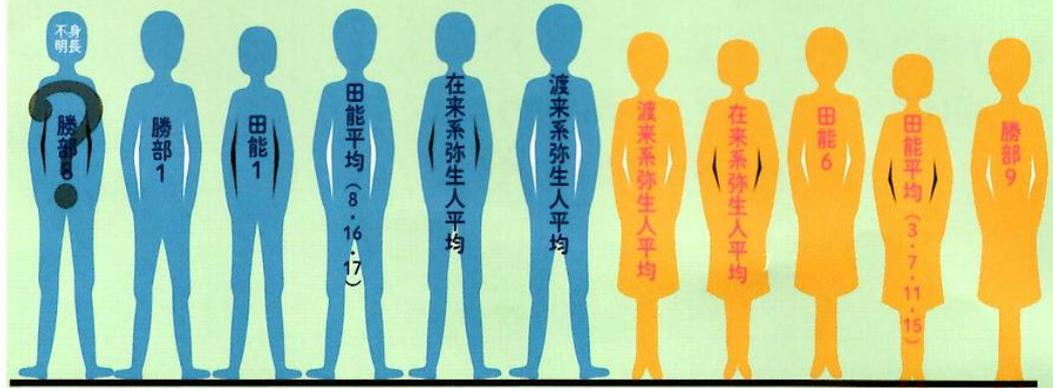
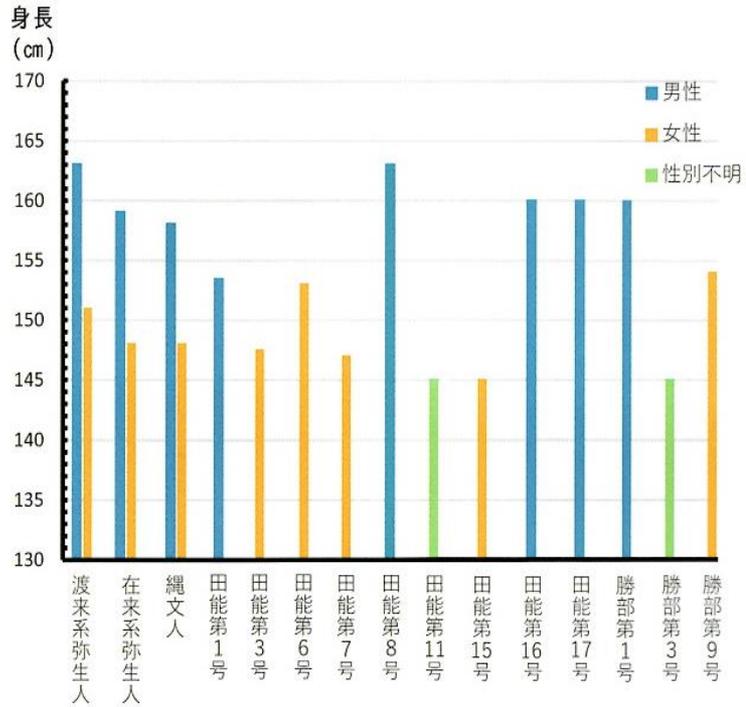
### 埋葬方法について

田能遺跡の墓には、**①土墳墓**、**②木蓋土墳墓**、**③土器棺墓**、**④木棺墓**の4種類の埋葬方法があります。③の土器棺は、赤ちゃんが亡くなった時に棺として用いられています。

### 方形周溝墓と埋葬施設

方形周溝墓は、方形の墳丘の周囲を溝で囲んだ弥生時代に見られる墓です。墳丘には埋葬施設が単独のものや、複数のものがあります。

# 弥生人の平均身長と田能遺跡・勝部遺跡の弥生人の身長

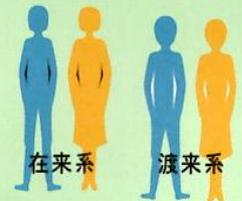


## 男性

- ・ 在来系の平均より高い
- ・ 一部在来系の平均より低い (田能1)

## 女性

- ・ 在来系の平均より低い
- ・ 性別不明 (田能11・勝部3) は身長から女性の可能性
- ・ 渡来系よりも高い (田能6・勝部9)



## 田能遺跡と勝部遺跡の出土人骨について

田能第8号・第6号や、勝部第9号のような高身長的人物がいる一方で、田能第7号・15号では歯のかみ合わせ、勝部第8号では大腿骨に柱状突起をもつなど縄文人の特徴をもっていた人がいます。近畿地方では、在来系弥生人と渡来系弥生人が混在しているとの研究結果もあり、田能遺跡と勝部遺跡もこのような状況を示していることがわかります。

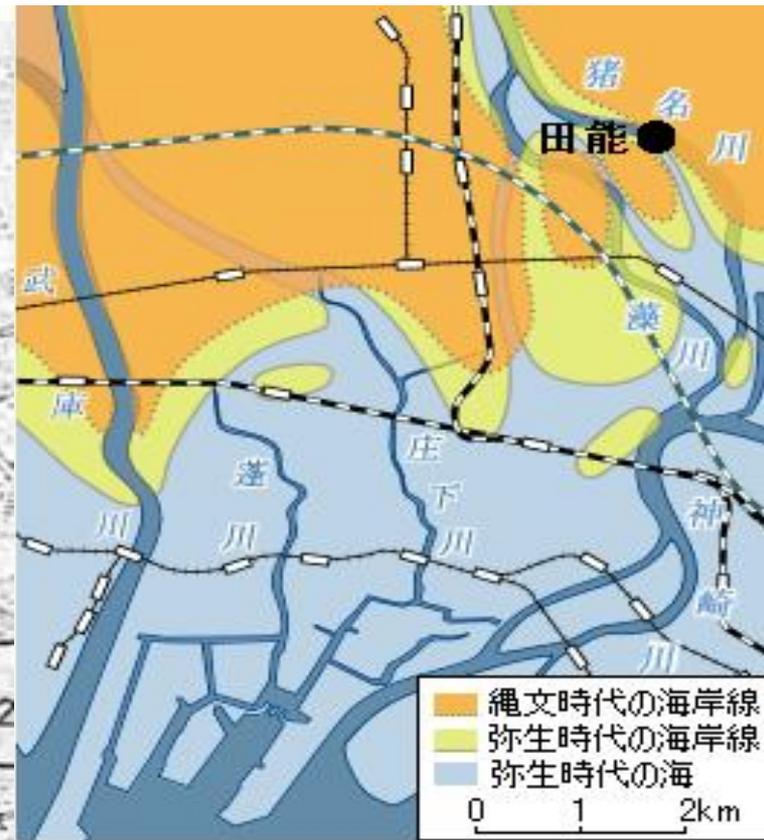
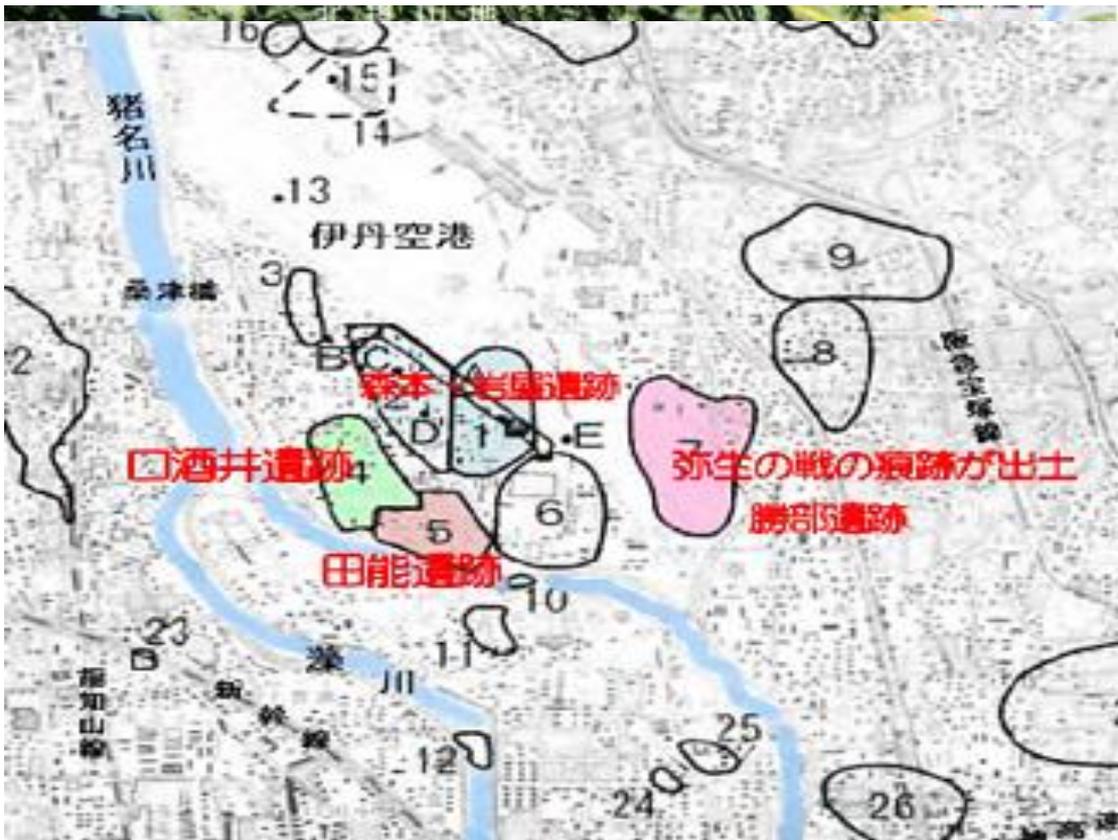
## 各遺跡のまとめ

田能遺跡…渡来系と在来系が混在していました。大規模な埋葬施設と豪華な装飾品を身に着けた人物がいました。

勝部遺跡…渡来系と在来系が混在していました。争いの犠牲者の墓があります。

原田西遺跡…方形周溝墓に供えた土器には古い文様のみで装飾された土器が長い間使われていました。これは田能遺跡、  
口酒井遺跡とは異なります。方形周溝墓には陸橋があります。

口酒井遺跡…周辺遺跡で唯一、円形周溝墓が見つかっており、弥生時代の葬送儀礼の一端がわかります。



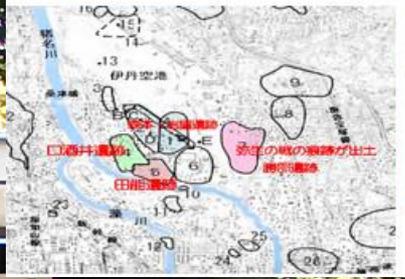
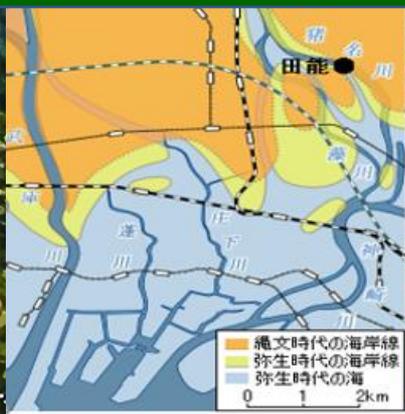
□酒井遺跡の土器展示に渦巻き文様の土器があったので、縄文晩期の土器かと思いましたが、展示はすべて弥生中期の土器と。資料館の学芸員の方と土器の話をきっかけに、少談笑して、いろいろ教えていただきました。

◎ □酒井遺跡の出土品が示す□酒井遺跡の存続時期と水田稲作の始まりについて縄文晩期の確定できぬ不明点ありと。

でも、縄文人がこんな湿地に下りてきて生活したとするとそのインパクトは「水田稲作」しか考えられず、渡来弥生人と共生もそんな視点か？

◎ 河内湖周辺の土器が多く出土。河内湖周辺との南ラスのつながりがある。

◎ □酒井遺跡の出土品は伊丹市立博物館が整備されて、そこに常設展示されていること知りました。



縄文・弥生時代の猪名川河口周辺の海岸線と弥生の集落遺跡概略



□酒井遺跡出土弥生土器 [伊丹市教育委員会蔵 / 当館]



□酒井遺跡出土弥生土器 [伊丹市教育委員会蔵 / 当館撮影]

◎国立民俗博物館が弥生時代の始まりが、約500年さかのぼれ、日本列島の中でこの500年縄文晩期と弥生早期(鉄器のない水田稲作の時代)並立時代が定着してきましたが、新しい弥生の時代感を個々の弥生遺跡でどう取り組むのか・・・まだまだ 課題があるようにみえました。本当に有難うございました。また、□酒井遺跡出土の縄文晩期の土器をインターネット検索で見ることができましたので添付

壺型土器 縄文晩期  
凸帯紋深鉢土器 縄文晩期  
波状口縁になっている深鉢型土器 縄文晩期  
右手前 粉圧痕が付いた浅鉢形土器 縄文晩期



## 稲作のはじまり

### 口酒井遺跡（くちさがいせき）

この遺跡は、口酒井2丁目を中心とする縄文時代晩期から古墳時代にかけての遺跡です。この一帯は猪名川によって形成された肥沃な沖積平野が広がり、周辺では大阪空港A・B遺跡、岩屋遺跡、田能遺跡（尼崎市）など縄文時代から古墳時代にかけての遺跡が見つかっています。

口酒井遺跡の発掘調査は1978年（昭和53年）に始まり、これまでに多数の発掘調査が行われ、数々の成果があがっていますが、中でも縄文時代の終わり頃（晩期）の粉（稲のモミ）の痕が付いた浅鉢（第6次調査）や稲穂を刈り取るための石包丁（第8次調査）の発見は、この地域での稲作がはじまりを示す重要な発見でした。さらに人面土偶（第6次調査）、石棒（第11・15次調査）など様々な遺物も出土しています。

インターネットより  
伊丹博物館 常設展示

[http://inoues.net/club8/itami\\_museum.html](http://inoues.net/club8/itami_museum.html)

# 口酒井遺跡出土の縄文晩期の土器

## 稲作のはじまり

### 口酒井遺跡 稲作のはじまり

この遺跡は、口酒井遺跡を中心とする縄文時代前期から中期にかけての遺跡です。この一帯は縄文時代を通じて稲作が盛んに行われてきたことが、遺跡から出土した稲作の道具（石臼）や土器（土器）から分かります。稲作の道具（石臼）や土器（土器）は、稲作の道具（石臼）や土器（土器）から分かります。稲作の道具（石臼）や土器（土器）は、稲作の道具（石臼）や土器（土器）から分かります。



## 稲作のひろがり

稲作のひろがり



縄文～弥生時代の伊丹



伊丹市立博物館  
「縄文～弥生時代の伊丹」の展示より 伊丹市のページより



資料館の前からは猪名川の向こうに六甲連山全体が見えている  
左:須磨から正面:六甲山上 右:宝塚まで  
こんなにバランスよく全山が見えているのにびっくりしました



2020. 11. 15. 資料館の横から土手に上がる 猪名川の土手から眺める上流  
北西 武庫川の下り口 宝塚方面が見えている



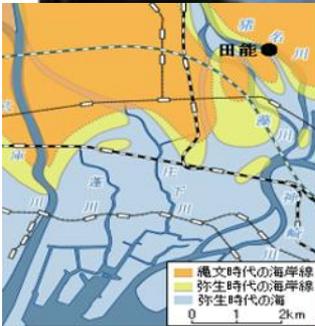
2020. 11. 15. 猪名川の土手南の景色 南東方向になる



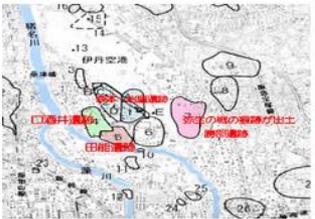
2020. 11. 15. 猪名川の土手 南の方向に 園田競馬場が見える



北側 六甲から北摂の山々 南は生駒山から大阪湾へ  
 中央の平地を北から南へ流れ下る猪名川平地の中央猪名川東岸  
 いち早く弥生人が住み着き、水田稲作を始めた



縄文・弥生時代の猪名川河口周辺の海岸線と  
 弥生の集落遺跡概略





2020. 11. 15. 猪名川土手を土手を猪名川橋まで戻り、  
猪名川橋を西に渡って、田能の街に出てバスで阪急園田から帰る

田能の資料館まで歩いた猪名川西岸の散歩道の向こうに六甲連山  
反対方向には生駒山 弥生の時代には広大な平地の真ん中にある感覚だった。  
この地に古くから弥生人が住み着いた理由が解ったような気になりました

私はいつも「心優しき縄文人 日本心のふるさと」と言うのですが、  
口酒井遺跡や田能遺跡などかつての猪名川河口周辺の弥生遺跡が示す  
「縄文人と弥生人の共生もその証」

久し振りにかつての猪名川河口近くの藻川・猪名川周辺を歩き、また、田能資料館特別展「田能遺跡の弥生人」展でそれが確認できました。

いつも頭にありながら、情報が得られなかった弥生人と縄文人の共生を考え、教えてもらえた、  
うれしい一日でした。

コロナ禍が世界的に広がる中 ますます日本・世界とも暮らしは厳しく、自己中心的な「分断・差別・格差」に向かっている。でも人類が幾多の困難を乗り越えて今の繁栄を築くことができたのは人類だけが持つ「相手を思いやる心」だといい、人類の歴史がそれを示している。  
決して二者選択の選別・分断・競争などの力ではなかった。

「相手を思いやる心」の発露が「心のやさしさ」「共生・平和」だと。  
約8000年の長きにわたる持続社会を作り上げた日本の縄文もその証。  
「心のやさしさ」「相手を思いやる心」が作る平和な暮らしを願う昨今です。  
それにもう一つ水田稲作の始まりの「縄文人と弥生人の共生」が加わった。  
いま、頂点同調圧力の中 考えることを放棄するような  
短絡的AI・デジタル化をうたう欺瞞一杯の情報化社会の流れ。

コロナ禍がもたらした新しい時代の生き方をそれぞれが考える一助になればと  
また、コロナ禍の中での近隣walk 西神戸にいる私の足は山や近隣の里に向く毎日。  
今回、秋晴れの川在の散歩道 解放感一杯 すがすがしい。  
うれしい一日を思い浮かべながら、阪急園田駅へのバスに揺られている。

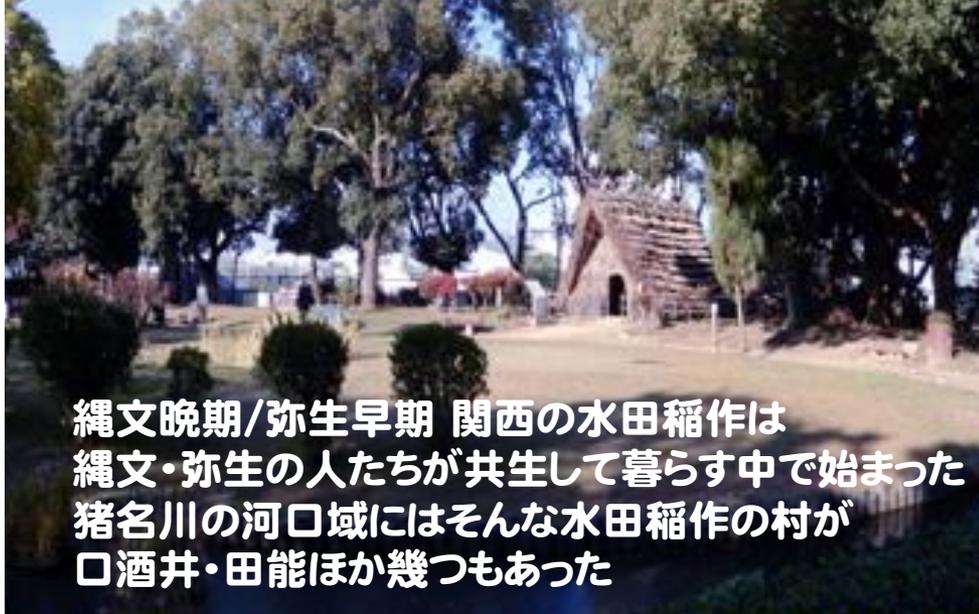
2020.11.15. 夕暮れ 久し振りの市バスも心地良く バスに揺られて

Mutsu Nakanishi

伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 2020.11.15.  
久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk  
R0211tanowalk00.htm by Mutsu Nakanishi

1. 8年前の和鉄の道・Iron Road 2013  
「水田稲作の始まり縄文と弥生の融合を示す田能・口酒井遺跡を訪ねる」  
<https://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1302kuchinosakai.pdf>  
今回のwalkのoutline 田能遺跡・口酒井遺跡の概要はこの資料で
2. 【PDF転載】  
田能資料館開館50周年特別展「田能遺跡の弥生人」小冊子2020.11月  
<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanotokubetsuten.pdf>
3. 【スライド動画】 伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 2020.11.15.  
久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk  
<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanowalk.mp4>
4. 【Photo Album】  
<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanowalkphoto.pdf>
5. 【web file】 伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 2020.11.15.  
久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk  
<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0211tanowalkweb.pdf>

# 水田稲作の始まり 縄文人と弥生人共生を明らかにした猪名川河口域の村



縄文晩期/弥生早期 関西の水田稲作は  
縄文・弥生の人たちが共生して暮らす中で始まった  
猪名川の河口域にはそんな水田稲作の村が  
口酒井・田能ほか幾つもあった

### 田能遺跡の弥生人 -田能家の人々-

令和2年 11月3日(水) ~ 12月20日(日)

弥生人の平均身長と田能遺跡・勝部遺跡の弥生人の身長

性別	田能遺跡 (cm)	勝部遺跡 (cm)
男性	158	158
女性	148	148

田能遺跡と勝部遺跡の出土人骨について

田能第6号・第6号骨、勝部第9号のような高身長の人骨が1号一方で、田能第7号・15号では骨の組み合わせ、勝部第8号では大股骨に短肢骨をもつ縄文人の骨格をもつ人骨が1号あります。近畿地方では、在来弥生人と渡来系

### 第1章 縄文人と弥生人

縄文人	(渡来系)弥生人
顔が深い	顔が浅い
目が大きい	目が小さい
二重まぶた	単重まぶた
大きな耳たぶ	小さな耳たぶ
ひげが濃い	ひげが薄い
歯が長い	歯が短い
歯が鋭い	歯が鈍い
歯が揃っている	歯が揃っていない
歯が黒い	歯が白い
歯が黄ばんでいる	歯が黒くない
歯が欠けている	歯が揃っている
歯が折れている	歯が折れていない
歯が欠けている	歯が揃っている
歯が折れている	歯が折れていない

縄文人の歯のかみ合わせ 上下の前歯がしっかりとあがる

弥生人の歯のかみ合わせ 上下の前歯の下の前歯にかさめる

### 第2章 田能遺跡の弥生人 -田能家の人々-

田能遺跡の弥生人は、方形周溝墓・土器土壌墓・土器土壌墓4基の計17基の埋葬施設が見つかりました。時期は大きく分けて弥生時代前期と弥生時代後期～古墳時代初期です。

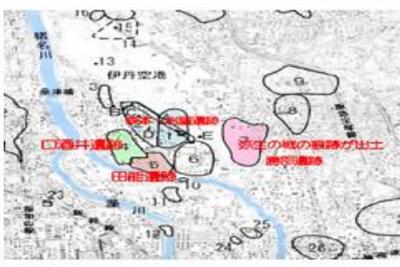
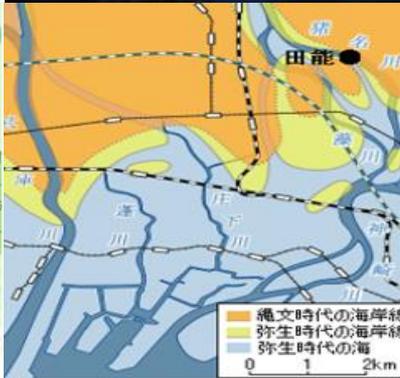
特に第3号方形周溝墓から見つかった第16号墓、第17号墓からは豪華な副葬品を身につけた人骨が見つかりました。

埋葬方法について

田能遺跡の弥生人は、方形の周溝墓を築き、土器土壌墓の4種類の埋葬方法があります。③の上層には、赤土が敷き詰められていました。

方形周溝墓と埋葬施設

方形周溝墓は、方形の周溝を築き、土器土壌墓に見られるように、赤土が敷き詰められていました。また、周溝の内側に、弥生時代の土器が埋め込まれていました。



# 水田稲作の始まり 縄文人と弥生人共生を明らかにした猪名川河口域の村

縄文晩期/弥生早期 関西の水田稲作は  
縄文・弥生の人たちが共生して暮らす中で始まった  
猪名川の河口域には そんな水田稲作の村が幾つもあった

伊丹 口酒井・尼崎 田能集落遺跡 再訪 2020.11.15.  
久しぶりに周辺の猪名川・藻川walk

大阪伊丹空港

豊中

JR  
福知山  
線

伊丹

猪名川

口酒井 田能遺跡  
遺跡 資料館

コロナ禍が早く収束して、新しい生活が始められるよう  
また、そんな時代が平和で明るい時代になりますよう  
みんな思いは同じ

上園橋

園田競馬場

ふるさとの湯もい入れいつばいのスライドに  
長々お付き合い ありがとうございました

2020.11.20.Mutsu Nakanishi

BGMは365日の紙飛行機でした

尼崎

至阪急  
園田駅

Google Earth

520m